

支えあって安心 つながる後見

親なきあとは、親あるうちに



NPO法人
あかり

成年後見制度とは？

知的障害・精神障害・認知症などによってひとりで決めることに不安や心配のある方が
「**自分らしく**」暮らせるよう、本人の気持ちを大切にしながら生活や財産を守る契約
を代わりに行うなど、さまざまな支援を法的に行う制度です。

法定後見制度



判断力が
不十分な方



判断力が
著しく不十分な方



ほとんど
判断できない方

家庭裁判所

補助人

保佐人

後見人

任意後見制度



今は元気な方

判断能力が十分なうちに、
あらかじめ後見人やサポ
ート内容を決めて公証役場で
契約。

任意後見人

後見人って誰がなれるの？

基本的には**誰でも**なれます。

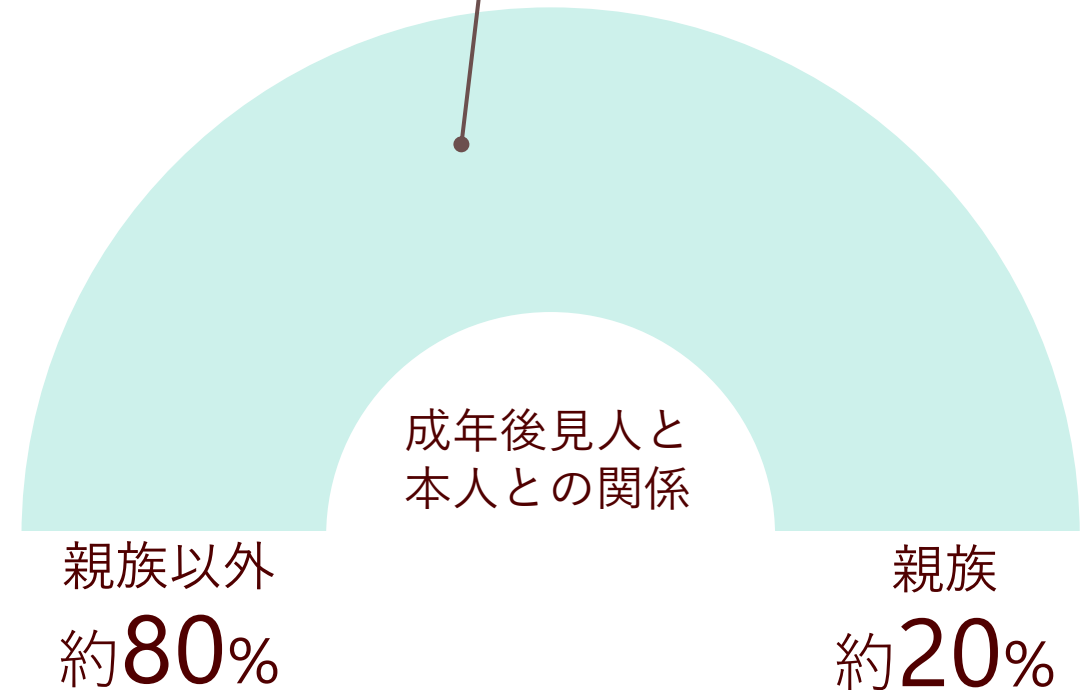


高齢者、障害者、その他の対象者、配慮も支援も違うはずなのに、資格もいらないの？

研修、特別な資格は必要ありません。裁判所に選任されれば成年後見人になれます。



- ・弁護士等専門職
- ・市民後見人
- ・社会福祉協議会、NPO法人など



NPO法人あかりの後見は...

障害を持つ方のための法人後見

- 知的障害
- 身体障害
- 精神障害



法人後見とは？

社会福祉法人や社団法人、NPO法人などの法人が成年後見人等になり、法人内の複数職員がお一人に関わっていくというやり方で行うものです。マンツーマンの後見ではなく、法人という様々な知識を持った職員集団が支援することで適切な後見ができるようになります。

成年後見人の仕事について

成年後見人の職務は、本人の財産管理や契約などの法律行為に関するものに限定されており、食事の世話や実際の介護などは、一般に成年後見人の職務ではありません。

はじめに



後見人として何をするか 計画を立てる

本人の意思を尊重し、暮らし方や支援の仕方、財産管理など、今後の計画と収支予定を立てます。

日々の
生活で



本人の財産を管理する

本人の預金通帳などを管理し、収入や支援の記録を残します。

必要に
応じて



意思決定を支援する

本人の意思を尊重し、自ら意思決定できるよう支援します。例えば住む場所を決定するとき、どこに住むのかを自ら決める支援をします。

一定の
期間に



家庭裁判所に報告する

家庭裁判所の求めに応じて、成年後見人として行った仕事の報告をし、助言や指導を受けます。

障害を持つ人の後見人に求められること

障害の理解
本人の理解

本人の気持ちを
くみとれるか

ライフステージによる
支援内容の変化

本人のお金を使って
その人らしく生きるため
のサービスの利用

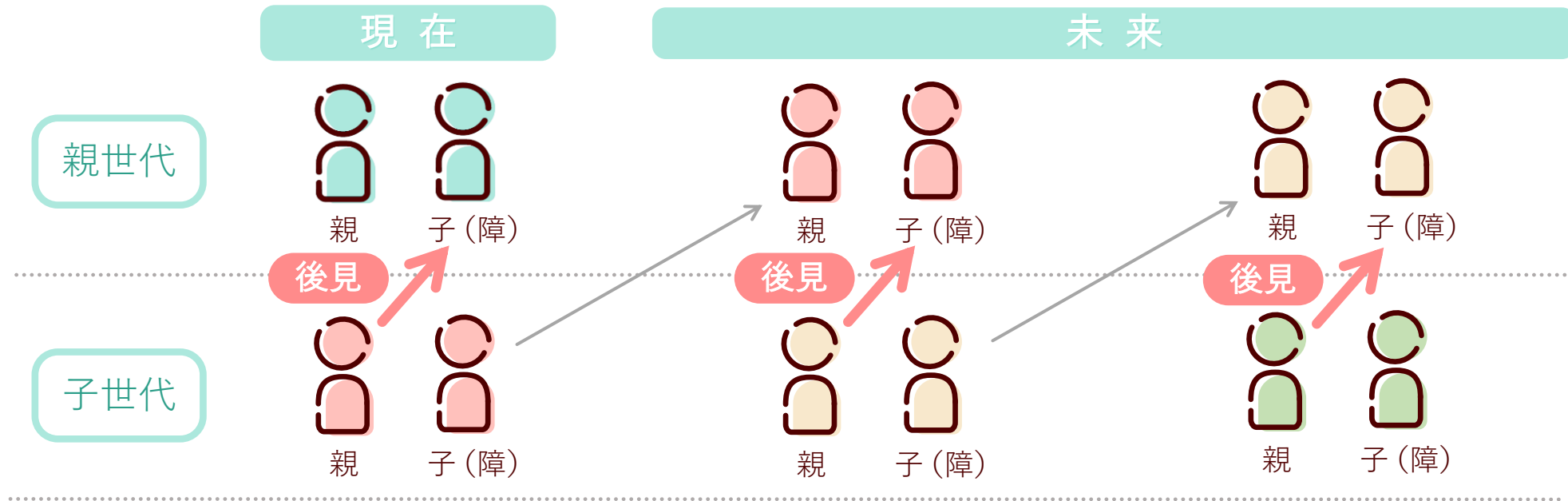
後見人にもいろいろ



- 資産管理を主に行うタイプ
- 後見当事者の生活にあまり寄添わず、お金の使い方を規制するタイプ
- 後見当事者の生活（QOL）を考え、周りの支援者との信頼関係を作り、ライフステージに合わせた有効なお金の使い方を目指すタイプ

あかりの後見が目指すもの

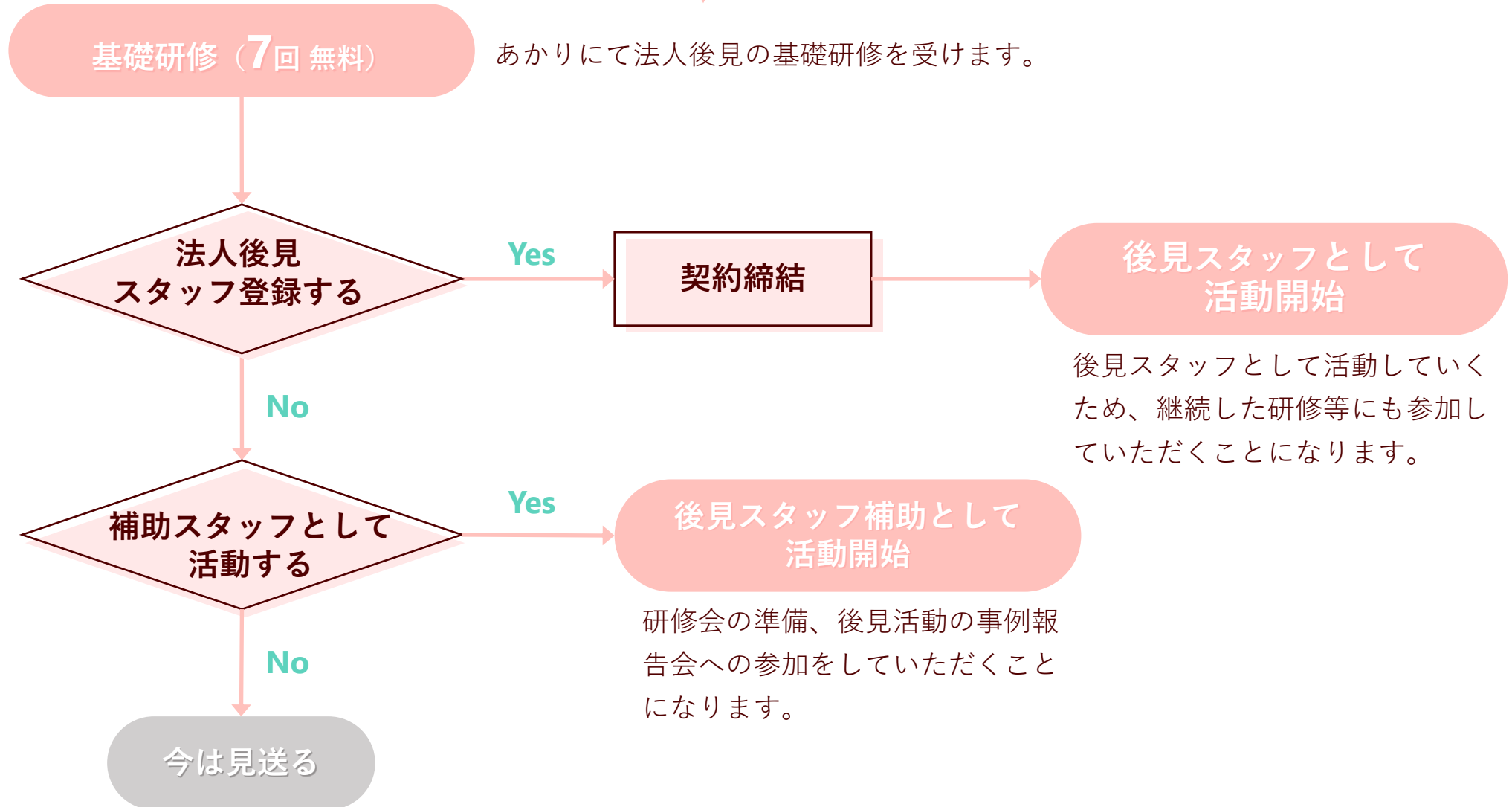
世代間の保護者の助け合いの仕組みづくり



- 障害を持つ子を育ててきた親の、そして子どもの心がわかる人が後見をしてくれる安心
- マンツーマン後見ではなく **チーム後見** で障害児がいてもできる **負担のない仕組み**



後見スタッフとして活動するまでの流れ



成年後見人の気になるアレコレ Q&A

Q

自分はどんな方の担当になりますか？



利用者さんからの申込みがあった際には、その方の状況をあかりで確認し、ご自宅からの距離などを考慮したうえで、担当候補の後見スタッフに打診いたします。

各後見スタッフには、状況を踏まえ、後見活動ができるかどうかをご判断いただきます。

なお、後見スタッフは利用者さんお一人につき二人体制とする予定で、ベテランと新人といった組み合わせを考えています。

障害を持つ子どもを育てている
あなたの力を貸してください！

